



日本キリスト教協議会

総幹事

網中彰子 牧師

2016年4月16日

日本・九州熊本県の皆さま ならびに 日本キリスト教協議会の兄弟姉妹へ

親愛なる網中彰子牧師

昨夜のとても強い地震に引き続き余震が続く中、私たち韓国キリスト教会協議会は心よりのお見舞いと熱烈なお祈りをお送りいたします。夜の闇の中、どこに行けば良いのか、また、これから何が起るのかわからないまま家から逃げ出さなくてはいけないのは、本当に怖いことと思います。この災害と喪失の時、私たちは皆さまのために、特に愛する者を失った方々、深刻な負傷に苦しんでいる方々のために悲しみます。さらに過酷な状況を引き起こしたであろう津波が無かったことは不幸中の幸いでしたが、それは地震のために苦しんでいる方、ショックを受けている方たちには何の気休めにもならないことを私たちは知っています。どうぞ私たちが悲しみの中にある皆さまと共に立っていることを知っていてください。

破壊と痛みを目の当たりにし苦悩するであろう救助、救援の任にある方々が強められますようお祈りいたします。また、指揮をする立場の方々が、必死に働く人々に的確な指示を出すことができますようお祈りいたします。

詩編の詩人は言います、「鳩の翼がわたしにあれば 飛び去って、宿を求め」「烈しい風と嵐を避け急いで身を隠すことができるのに。」（詩編55：7、9）

人生の混乱の真ん中にこそ、神はいます。すべてが神のみこころのうちに保たれることをお祈り申し上げます。

一つにあって

韓国キリスト教会協議会

総幹事

キム・ヨンジュ牧師

윤길수

ユン・キル・スー牧師